

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年12月16日
タイトル	おにぎりパーティーしたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年12月2日（水）福山市松永町の松永幼稚園の園児331名が、松永幼稚園園庭でおにぎりパーティーが、晴天に恵まれ温かい陽気のなか元気いっぱいの子も達で賑やかに行われました。

このおにぎりパーティーでは、年長組97名が農業体験した水土里ネット福山の組合員で東村町の^{かいのあきのり}廻野明倫さんのほ場で栽培したお米が使われました。約40kgのお米を用意するそうです。

廻野さんが、この日のため取っておいた稲穂を持って来られ稲穂を見ながら田植えから稲刈りまでを子ども達に思い出してもらいました。

園庭の机にはご飯とお皿などがセットしており、年少組から順番に年中組、年長組が、おむすびをむすびます。手でむすぶのが難しい子は、お椀を二つ重ねて中にご飯を入れ、両手で持って振りおむすびにしていました。手を水で濡らして、塩とゴマをつけ、小さな手でむすびます。手にいっぱい米粒をつけている子や「むすぶ」というのが難しいのか、ペチャンコにしている子もいました。中には、とても上手な子どもがいて、話してみると「お母さんに教えてもらって作った事ある！」と嬉しそうに教えてくれました。



お椀を重ねてふりふり！



みんなでおにぎり楽しいな！

ブルーシートが用意してあり、みんなで並んで座って、自分でむすんだおむすびをおいしそうに頬張っていました。田植えや稲刈りのことを聞くと「田植えが楽しかった！土がぬるぬるして気持ち良かった。」「手を切らずにイネをきったんよ！」「おむすび、やっぱりおいしいねえ！」とみんな笑顔で答えてくれました。

子ども達は、自分達が田植えや稲刈りをした田んぼのお米だと、よく理解しているようで「自分で稲刈りしたお米はおいしい！」と言っていました。



園長先生にお話を伺ったところ、農業体験で子どもも保護者の方も大変喜んでくださって、最初は田植えをしないつもりでいたお母さんに、田んぼに入ってもらって体験してもらい、いい思い出になったと言っておられたようです。保護者の世代は、田植えや稲刈りを体験したことがない人が多いようですが、子どもと一緒に今回体験したことにより、農業の大変さや米などの食べ物を大事にする気持ち、環境や食育に対する関心が強くなれたと感じました。

こうしたことから、水土里ネットの果たす社会的な役割について広く市民の理解を図ってまいります。



みんな、とても生き生きとした表情で、元気一杯です。おむすびをほおぼっている様子はとても微笑ましく、見ている方も自然と笑顔になりました。おむすびを何個もおかわりしている子どももいました。最後は一つお土産のおむすびを作って大事そうに持って帰っていました。